

4 快適な職場環境の実現 すべての人が生き生きと働く職場へ



一人ひとりが働きがいを感じることでできる職場環境とするため、ワークライフバランスの実現やスキル向上に向けた取り組み、女性の活躍推進に向けた取り組みなど、様々な活動を通じた「すべての人が生き生きと働く職場づくり」を推進しています。



だれもが安心して働ける職場環境の整備

労働人口が減少する中で、企業が持続的な成長を遂げていくためには、だれもが安心して働ける職場環境の整備が欠かせません。快適な職場環境を実現し、一人ひとりが持てる能力を最大限に発揮できるよう、様々な取り組みを推進しています。

週休二日(作業所閉所)に向けた取り組み



ワークライフバランス(仕事と生活の調和)実現のため、週休二日制の実現に向けた取り組みを推進しています。

健康経営優良法人2020(大規模法人部門)に認定

特に高齢化が加速する建設業界において、個人の健康に配慮した働き方が求められています。当社は「健康経営優良法人2020(大規模法人部門)」に認定(2020.3.2)されました。今後も、社員の健康管理を経営的観点からも考え、より一層の環境整備に努めます。



育休・産休の取得率向上を目指して

男性・女性の別なく育児休業を取得しやすい、育児参加ができる風土づくりを進め、だれもが社会で活躍できる職場環境を目指し環境整備を始めています。

オンラインを活用した多様な働き方へアプローチ

新型コロナウイルスの自粛要請に応じ、テレワークの導入・特別休暇の取得を速やかに実現しました。また、新入社員研修もオンライン上で実施し、現在では、社内外における打合せのオンライン対応もスムーズになっています。

私たちはオンライン活用を含めた「新しい働き方」について今後も模索を続け、多様な働き方の実現を目指します。



▲ 土木部技術研修

女性の活躍推進



女性の採用・昇進の積極的機会の提供、希望者の作業所配属推進等に取り組んでいます。また、育児・介護休暇や育児のための勤務時間短縮制度、企業主導型保育事業の利用促進など、自身のライフステージの変化に応じて、安心して働き続けられる環境の整備・支援体制の拡充を進めています。

PICK UP 子育て世代のスタッフへインタビュー



第二営業部営業課 主任 漆原さん

Q.家庭と仕事を両立する上で大変なことは?

子供を保育園に迎えに行くため、残業せずに勤務時間内に仕事を終わらせるように効率化したり、突然の病気の時など最初は大変でした。部内も私が子供がいる状況に段々と慣れてくれて、子供のことで急に休まなくてはならないときも「休みづらい」という雰囲気はありません。



Q.テレワークをしてみて、良かったこと・課題は?

仕事中に子供が膝の上に乗ってきたり、パソコンをいたずらしたりと正直大変な部分もありました。ですが、通勤も保育園の送迎もない分、時間にも気持ちにも余裕が生まれ、その時間を家事や子供との関わりに充てることができました。

Q.産休・育休に対する社内での反応は?

ここ数年で産休・育休の利用者も増加してきています。やはり絶対数が増えると周りも受け入れやすくなっている感覚がありますね。

Q.会社と家族が関わるエピソードがあれば教えてください。

実は、娘が生まれたときは、出産に3日間もかかった(！)のですが、上司が早く終始立ち会いすることを許してくれまして、家族の絆が深まったと思います。



建築部設計課 主任 清水さん